

馬書

番外書冊

				和書門
		三三〇九		
	六三			
八	一			
冊	架	函	號	類

庫文閣内			
五	三		和
四	四		書
一	八	九	
冊	冊	號	類

武備兵法

内閣文庫		
番號	和	23409
冊數	8 (8)	
函號	154	390



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak



音旋らひ糸旋ハ字勿ハ色人ハ糸ハ澄ハ高ハ
引ハ旋ハ引ハ名ハ引ハ

一 藤花旋

音旋らひ藤ハ苞蕉ハ苞蕉ハ引ハ引ハ花ハ旋ハ称ハ
引ハ引ハ苞蕉ハ引ハ旋ハ引ハ

引ハ引ハ名ハ引ハ

一 靠槽旋

音旋らひ靠ハ槽ハ引ハ引ハ引ハ引ハ引ハ引ハ
引ハ引ハ引ハ引ハ引ハ引ハ

一 乳香旋

音旋らひ乳ハ香ハ引ハ引ハ引ハ引ハ引ハ引ハ
引ハ引ハ引ハ引ハ引ハ引ハ

引ハ引ハ引ハ

一 食槽旋

音旋らひ食ハ槽ハ引ハ引ハ引ハ引ハ引ハ引ハ
引ハ引ハ引ハ引ハ引ハ引ハ

一 追風旋

音旋らひ追ハ風ハ引ハ引ハ引ハ引ハ引ハ引ハ
引ハ引ハ引ハ引ハ引ハ引ハ

一 心極作旋

音旋らひ心ハ極ハ作ハ引ハ引ハ引ハ引ハ引ハ引ハ
引ハ引ハ引ハ引ハ引ハ引ハ

一 君旋の前の後の馬の後の衣の門の水の七の

一 中の依の衣の布の旋の馬の馬の水の小の水の

一 水の依の衣の布の旋の馬の馬の水の小の水の

一滴旋

一 君旋の一滴の流の水の洞の水の中の衣の目の水の

一 旋の具の形の洞の水の中の衣の目の水の

一 旋の衣の目の水の

一 衝禍旋

一 君旋の名の禍の衝の衣の目の水の

一 喉旋

一 君旋の衣の目の水の

一 騰蛇旋

一 君旋の衣の目の水の

一 君旋の衣の目の水の

一 盛淚旋

一 君旋の衣の目の水の

一 君旋の衣の目の水の

一 挾尻旋

一 君旋の衣の目の水の

一 君旋の衣の目の水の

一 抱喪旋

抱喪旋はらさうせんは抱はらの儀ぎに引續ひきつづく公喪こうさうの喪さうの旋せんと作つく後ご

一 弓矢旋

弓矢旋きゅうしせんは弓きゅう矢しの儀ぎに引續ひきつづく急喪きゅうさうの喪さうの旋せんと作つく後ご

一 鞆鞆

鞆鞆たもたもは鞆たもの儀ぎに引續ひきつづく諸侯しよこうの喪さうの旋せんと作つく後ご

一 判官頭

判官頭はんくわんかぶは判官はんくわんの神かみに冠かんむりを具そなへて其その冠かんむりを冠かんむりする事ことを判官頭はんくわんかぶと云いふ

名なは判官はんくわん

一 帝燕翅

帝燕翅ていえんしは燕えんの翅しの儀ぎに引續ひきつづく天子てんしの燕えんの儀ぎに引續ひきつづく

名なは天子てんしの燕えんの儀ぎに引續ひきつづく

一 鞆板

鞆板たもいたは鞆たもの板いたの儀ぎに引續ひきつづく天子てんしの燕えんの儀ぎに引續ひきつづく

一 鞆心

鞆心たもこころは鞆たもの心こころの儀ぎに引續ひきつづく天子てんしの燕えんの儀ぎに引續ひきつづく

とんと端尻圍るる山

一 軟鞆根

軟鞆ハ増らるる山根ハ元々山根ハ増らるる山

活弁ハ皮紐と軟鞆根ハ元々山

一 梢縄眼

梢縄ハ元々皮紐ハ元々山根ハ元々山

山根ハ元々山根ハ元々山

一 梢縄

梢縄ハ元々山根ハ元々山根ハ元々山

山根ハ元々山根ハ元々山

一 後鞆根

後鞆ハ元々山根ハ元々山根ハ元々山

山根ハ元々山根ハ元々山

一 套子

套子ハ元々山根ハ元々山根ハ元々山

山根ハ元々山根ハ元々山

山

一 疋子

疋子ハ元々山根ハ元々山根ハ元々山

山根ハ元々山根ハ元々山

一 簪

是名深泥と申す

一 襖 簪

襖ハ巾重の中より字より引深泥と申す

之ハ巾重の中より字より引深泥と申す

一 匣子

是名巾重の中より字より引深泥と申す

一 踏 沓

踏ハ巾重の中より字より引深泥と申す

沓ハ巾重の中より字より引深泥と申す

一 沓 札 皮

沓ハ巾重の中より字より引深泥と申す

沓ハ巾重の中より字より引深泥と申す

一 沓 皮 糸 子

沓ハ巾重の中より字より引深泥と申す

沓ハ巾重の中より字より引深泥と申す

一 沓 皮 筋 舌

沓ハ巾重の中より字より引深泥と申す

沓ハ巾重の中より字より引深泥と申す

一 沓 皮 眼

一 靴は多々石を穿て履く所は遠くまで通るに
はる力皮を元を澄皮履を石より

一 後鞆
靴は多々石を穿て履く所は遠くまで通るに

一 軟鞆
靴は多々石を穿て履く所は遠くまで通るに

一 軟靴
靴は多々石を穿て履く所は遠くまで通るに

一 少
靴は多々石を穿て履く所は遠くまで通るに

一 包子
靴は多々石を穿て履く所は遠くまで通るに

一 靴
靴は多々石を穿て履く所は遠くまで通るに

一 靴
靴は多々石を穿て履く所は遠くまで通るに

一 抛書

是名書と云はる所は物と云はる所は
中名を作す候に得る中本名は名ハ抛書禮
と申別元無り候禮と申す所也

一 鞆根包子

靴は多々石を穿て履く所は遠くまで通るに
是申す候に今物の中名は名ハ抛書禮
と申す所也

一 鞆根

靴は多々石を穿て履く所は遠くまで通るに

五ノシテハ物ノ新極ノ名ナリ

一 之又口件

之又口件之投ノ中ニ又口件ノ事ニ付テハ
訓ノ方ニテハ新極ノ初書ニテハ二箱ノ名ニ付テハ
之投ノ事ニ付テハ新極ノ事ニ付テハ或ハ動ノ事ニ付テハ
數ノ事ニ付テハ口件ノ事ニ付テハ口件ノ事ニ付テハ
口件ノ事ニ付テハ

一 攀胸

物ノ初ノ事ニ付テハ口件ノ事ニ付テハ口件ノ事ニ付テハ

一 攀物名

右ノ事ニ付テハ口件ノ事ニ付テハ口件ノ事ニ付テハ

一 攀物籠子

一 肚帯

肚ノ事ニ付テハ口件ノ事ニ付テハ口件ノ事ニ付テハ

一 梱肚

梱ノ事ニ付テハ口件ノ事ニ付テハ口件ノ事ニ付テハ

一 吊社

吊ノ事ニ付テハ口件ノ事ニ付テハ口件ノ事ニ付テハ

一 後市と市井の事

一 樂歌

悠遠に馬を引く道は長し 丸石を踏む

少くも

一 兜摠

兜をすくふは後摠の事なり

兜摠の事

一 指摠

指の摠は後摠の事なり

かゝる摠は後摠の事なり

一 白梁

白梁の事

一 嚼口

嚼口の事

一 膏環

膏環の事

一 吊

吊の事

吊の事

吊の事

一 吊梁

梁を吊るる物也。梁の端に掛るる物也。

一 梁の端に掛るる物也。梁の端に掛るる物也。

一 洗噴水

一 皮噴水

一 石の皮を剥く物也。石の皮を剥く物也。

一 杜子

一 手に入る物也。手に入る物也。

一 纏縄

一 縄を纏む物也。縄を纏む物也。

一 纏縄皮噴水

一 右見之溜るる物也。右見之溜るる物也。

一 耳澆

一 耳に澆る物也。耳に澆る物也。

一 澆るる物也

一 貼狗

一 貼る物也。貼る物也。

一 惣狗

一 惣括るる物也。惣括るる物也。

一 惣括るる物也。惣括るる物也。

一 身ハ馬ノ耳ヲ六指割テ切リ定通ル中ハ汗ヲ流シ
テハ汗ヲ指割テテ中流ル耳ヲ元ト名ケル也

一 食槽穴

一 食槽穴 食槽穴ハ食ヲ槽ニテ今汝別ニ食槽ヲ食ニテ
名ケル也

一 通天穴

一 通天穴 通天穴ハ天ノ中ニ通ル也
凡ソ通ル也

一 泣今穴

一 泣今穴 泣今穴ハ今ノ中ニ通ル也
凡ソ通ル也

一 垂晴穴

一 垂晴穴 垂晴穴ハ晴ノ中ニ通ル也
凡ソ通ル也

一 骨眼穴

一 骨眼穴 骨眼穴ハ骨ノ中ニ通ル也
凡ソ通ル也

一 二江穴

一 二江穴 二江穴ハ二江ノ中ニ通ル也
凡ソ通ル也

一 氣海穴

一 氣海穴 氣ハ鼻ノ中ニ通ル也
凡ソ通ル也

一 血堂穴

堂は家居の内より切し筋を以て血の集所より易く把し之を血堂穴と名す

一 薑芽穴

鼻肉薑芽より切し筋を以て此穴を以て之切肉より薑芽切肉と名す

一 玉堂穴

玉堂は心より切し筋を以て此穴を以て玉堂穴と名す

一 引心穴

引心は心より切し筋を以て此穴を以て引心穴と名す

一 壯筋穴

壯筋は筋より切し筋を以て此穴を以て壯筋穴と名す

一 嚼口穴

嚼口は口より切し筋を以て此穴を以て嚼口穴と名す

一 雲門穴

雲門は胸より切し筋を以て此穴を以て雲門穴と名す

一 右 洞 之 名 知 山

一 七 穴

一 右 洞 之 名 知 山

一 小 勝 穴

一 勝 穴 之 名 知 山 穴 之 名 知 山 穴 之 名 知 山

一 大 勝 穴

一 勝 穴 之 名 知 山 穴 之 名 知 山 穴 之 名 知 山

一 鵝 鼻 穴

一 鵝 鼻 穴 之 名 知 山 穴 之 名 知 山 穴 之 名 知 山

一 山 之 名 知 山 穴 之 名 知 山 穴 之 名 知 山

一 曲 池 穴

一 曲 池 穴 之 名 知 山 穴 之 名 知 山 穴 之 名 知 山

一 陰 掬 穴

一 陰 掬 穴 之 名 知 山 穴 之 名 知 山 穴 之 名 知 山

一 掃 草 穴

一 掃 草 穴 之 名 知 山 穴 之 名 知 山 穴 之 名 知 山

一 合 子 穴

一 合 子 穴 之 名 知 山 穴 之 名 知 山 穴 之 名 知 山

一 千 金 穴

一 千 金 穴 之 名 知 山 穴 之 名 知 山 穴 之 名 知 山

命と名と山

一 腎堂穴

腎堂穴は腎臓の裏にあり、腰の骨の間にあり、

一 交背穴

交背穴は背の骨の間にあり、

一 攢筋穴

攢筋穴は背の骨の間にあり、

一 攢筋穴

攢筋穴は背の骨の間にあり、

一 灶門穴

灶門穴は背の骨の間にあり、

一 蹄須穴

蹄須穴は背の骨の間にあり、

一 第脈穴

第脈穴は背の骨の間にあり、

一 衆流穴

衆流穴は背の骨の間にあり、

一 肘子穴

肘子穴は背の骨の間にあり、

一 天旧穴

天旧穴は背の骨の間にあり、

白くく其の... 空道... 天回穴... ぬき山

一 蹄門穴

八つ針... 蹄門穴... ぬき山

一 胸堂穴

堂... 湯... ぬき山

胸堂穴... ぬき山

一 捨風穴

捨風... ぬき山

一 垂泉穴

右... ぬき山

一 寸蹠穴

右... ぬき山

一 柘助穴

山... 柘助穴... ぬき山

一 膝門穴

膝門穴... ぬき山

一 夜眼穴

其形目... 夜眼穴... ぬき山

一 同筋穴

右... ぬき山

一 傳尖穴

傳尖... ぬき山

一 項蓋骨

項蓋骨の骨は、頭蓋骨の頂部にあり、左右の骨が対称的に並び、中央に矢状縫合がある。骨の表面は滑らかで、内部には骨髄腔がある。

一 八肉

八肉は、頭蓋骨の頂部にあり、左右の骨が対称的に並び、中央に矢状縫合がある。骨の表面は滑らかで、内部には骨髄腔がある。

一 能會骨

能會骨は、頭蓋骨の側面にあり、左右の骨が対称的に並び、中央に矢状縫合がある。骨の表面は滑らかで、内部には骨髄腔がある。

一 眼圏骨

眼圏骨は、頭蓋骨の側面にあり、左右の骨が対称的に並び、中央に矢状縫合がある。骨の表面は滑らかで、内部には骨髄腔がある。

一 鼻涙骨

鼻涙骨は、頭蓋骨の側面にあり、左右の骨が対称的に並び、中央に矢状縫合がある。骨の表面は滑らかで、内部には骨髄腔がある。

一 松子骨

松子骨は、頭蓋骨の側面にあり、左右の骨が対称的に並び、中央に矢状縫合がある。骨の表面は滑らかで、内部には骨髄腔がある。

一 閃骨

閃骨は、頭蓋骨の側面にあり、左右の骨が対称的に並び、中央に矢状縫合がある。骨の表面は滑らかで、内部には骨髄腔がある。

閃骨の骨は、頭蓋骨の側面にあり、左右の骨が対称的に並び、中央に矢状縫合がある。骨の表面は滑らかで、内部には骨髄腔がある。

一 上唇骨

一 下唇骨

上唇骨と下唇骨は、顎骨の一部であり、左右の骨が対称的に並び、中央に矢状縫合がある。骨の表面は滑らかで、内部には骨髄腔がある。

一 牙根骨

牙根骨は、顎骨の一部であり、左右の骨が対称的に並び、中央に矢状縫合がある。骨の表面は滑らかで、内部には骨髄腔がある。

一 口又骨

口又骨は、顎骨の一部であり、左右の骨が対称的に並び、中央に矢状縫合がある。骨の表面は滑らかで、内部には骨髄腔がある。

口又骨の骨は、顎骨の一部であり、左右の骨が対称的に並び、中央に矢状縫合がある。骨の表面は滑らかで、内部には骨髄腔がある。

一 腮骨

一 尾骨

尾骨の骨をいふ。尾骨通の骨と尾骨と名す。

一 三叉骨

三叉骨の骨をいふ。三つの骨と略す。この骨は三つに分れる。

又骨と名す。

一 燕翅骨

燕翅骨と燕翅の骨をいふ。燕翅骨と名す。

一 背脊骨

背脊骨の骨をいふ。背脊の骨と名す。

一 交收骨

交收骨の骨をいふ。交收の骨と名す。

一 弓子骨

弓子骨の骨をいふ。弓子の骨と名す。

一 喉骨

喉骨の骨をいふ。喉の骨と名す。

一 身根骨

身根骨の骨をいふ。身根の骨と名す。

一 脳骨

脳骨の骨をいふ。脳の骨と名す。

一 馬蹄刀

馬蹄刀の骨をいふ。馬蹄の骨と名す。

一 涙汁

涙汁の汁をいふ。涙の汁と名す。

一 蹄絆

蹄絆の絆をいふ。蹄の絆と名す。

併し... 別馬... 蹄... 馬

角嚙口

角ハ牛角唯ハ... 字馬... 角

擗鼻

擗ハ... 鼻... 擗

撮口

撮口... 撮

氣汁

氣汁... 氣

眼針

眼針... 眼

火汁

火汁... 火

散汁

散汁... 散

穿牙汁

穿牙汁... 穿

薑芽釣

薑芽釣... 薑

泊はらのこの量を尺にけるは切る也凡草葉を泊に作也

一 牛肝刀

是を牛肝の形に似せ及物を切るに用ゆる刀也

一 狼頭

その首の形に似せ及物を切るに用ゆる刀也

一 修蹄攪

修蹄の形に似せ及物を攪るに用ゆる刀也

一 変板

変板の形に似せ及物を攪るに用ゆる刀也

一 襯填

是を空虛の形に似せ及物を攪るに用ゆる刀也

填はらのこの量を尺にけるは切る也

一 剪鼻刀

剪鼻の形に似せ及物を切るに用ゆる刀也

一 蹄心澹

蹄心の形に似せ及物を攪るに用ゆる刀也

一 鑿子

是を木の細子を削るに用ゆる刀也

一 月亞鏡

月亞の形に似せ及物を攪るに用ゆる刀也

凡裏とてと月並流と名す

秋葉燧

秋葉ハ樹樹ノ葉トイハレ秋ノ字ニ因音取流ノ用ニ
中ニ流ハ燧燧ノ音流ノ音ニ因音取流ノ用ニ
凡ニ秋ノ字ハ燧ノ音取流ノ用ニ

白傷燧

其秋ノ燧ハ白傷ノ燧ニ因音取流ノ用ニ

刀燧

其形刀ノ形ニ因音取流ノ用ニ

脚口

脚ハ物ノ下ノ字ニ因音取流ノ用ニ
凡ニ脚ノ字ハ口ノ音取流ノ用ニ

齧口

齧ハ物ノ口ノ字ニ因音取流ノ用ニ
凡ニ齧ノ字ハ口ノ音取流ノ用ニ

肉牙

肉ノ字ハ牙ノ字ニ因音取流ノ用ニ
凡ニ肉ノ字ハ牙ノ音取流ノ用ニ

護部牙

護ハ護衛ノ義也護部ノ字ハ牙ノ字ニ因音取流ノ用ニ
凡ニ護部ノ字ハ牙ノ音取流ノ用ニ

騎牙

右ノ謂凡ニ牙ノ音取流ノ用ニ

一 羅圈腿

羅圈腿とは、脚の骨が曲がり、歩くと足が内側に倒れる病をいふ。其の形は、（図）の如し。此の病は、（羅）の字に因りて名づく。其の病は、（脚）の骨が曲がり、歩くと足が内側に倒れる病をいふ。其の形は、（図）の如し。此の病は、（羅）の字に因りて名づく。

一 白縷貫睛

白縷貫睛とは、眼の白膜に白糸が貫き、眼の奥まで達する病をいふ。其の形は、（図）の如し。此の病は、（白）の字に因りて名づく。其の病は、（縷）の字に因りて名づく。

一 羊睛眼

羊睛眼とは、眼の白膜に羊の目の如き膜が生じ、眼の奥まで達する病をいふ。其の形は、（図）の如し。此の病は、（羊）の字に因りて名づく。其の病は、（睛）の字に因りて名づく。

一 犯星眼

犯星眼とは、眼の白膜に星の如き膜が生じ、眼の奥まで達する病をいふ。其の形は、（図）の如し。此の病は、（犯）の字に因りて名づく。其の病は、（星）の字に因りて名づく。

一 流鼻

流鼻とは、鼻から清水が流れる病をいふ。其の形は、（図）の如し。此の病は、（流）の字に因りて名づく。其の病は、（鼻）の字に因りて名づく。

一 二箸形射馬弓丸重拾は行射は弓成用ひ丸を成

一刀半は弓に成

一 地球派射馬弓丸重拾は行射は弓成用ひ丸を成
は弓に成

一 射弓、箭の二指り合ふは弓成用ひ丸を成
は弓に成
は弓に成
は弓に成

弓行數種は極に事

一 弦振るは弓の中は弦は月を成用ひ丸を成

射馬弓丸重拾は行射は弓成用ひ丸を成

二刀 刀身並に人字
柄並に人字
汚し候事あり

桃刀 刀身並に人字
柄並に人字

一 撒袋

一 撒袋頭

右に謂ふ是迄は知事也

一 弓取

是名弓に類し、Pに弓と入ると弓取と名す也

一 提帶

提名は弓に類し、弓に類し、提帶と名す也、
弓に類し、提帶と名す也、
弓に類し、提帶と名す也、

一 蓋箭

箭袋に蓋あり、蓋は弓に類し、
蓋は弓に類し、蓋は弓に類し、

一 救命箭

此は救命箭に類し、救命箭に類し、
救命箭に類し、救命箭に類し、

一 大鴨舌

此は鴨舌に類し、鴨舌に類し、

一 小鴨居

有りの心

一 波来須

波来須は海へ出る事... 波来須は海へ出る事... 波来須は海へ出る事...

一 根牙

根牙は歯の根... 根牙は歯の根... 根牙は歯の根...

一 跳箭

右の跳箭は... 右の跳箭は... 右の跳箭は...

一 列

列は... 列は... 列は... 列は... 列は...

茶... 茶... 茶... 茶... 茶...

大... 大... 大... 大... 大...

矢... 矢... 矢... 矢... 矢...

一 矢... 矢... 矢... 矢... 矢...

利... 利... 利... 利... 利...

一 或... 或... 或... 或... 或...

五... 五... 五... 五... 五...

一 弓... 弓... 弓... 弓... 弓...

弓

一 挺... 挺... 挺... 挺... 挺...

一 擺袋

擺ハチ拂上湯字あるわくをわらひ則後分有

三ツ袋あとりし者擺袋名ケ申

一 大鴨古小鴨舌サ波菜頭ゆきも銭糸多高

一 針山糸糸山

一 狼牙糸糸と針作玉敵と針山

慶應

000000

